

札幌学院大学

コラボレーションセンター年報

Collaboration Center

第五号

2019-2020

学生スタッフ制作動画紹介

コラボレーションセンターの活動について紹介する動画を、スタッフ自ら制作しました！
手間ひまかけた自信作ですので、どうぞご覧ください！



そもそもの話・・・
コラポって何？

そんな方にもわかりやすく、コラポの施設紹介動画を作りました。今回作成した動画では、アクティブラーニングに最適な環境であるSPACE2・3を特集しています！



再現VTRや利用されている風景の写真を多く用いたことで、授業・勉強会・ミーティング等の様子をよりイメージしやすくなっています。紹介する施設・設備が切り替わる際には映像効果を使用し、視覚的にもたいへんわかりやすい動画となっています！施設や設備は学生・教員・職員問わず、気軽に予約・利用することができますので、ぜひ足をお運びください！



施設紹介動画はこちらのQRコードから視聴できます！



コラポについてはわかった。
じゃあスタッフは何をするの？

施設紹介動画と同時進行で作ったのが、スタッフ活動紹介動画です。この動画ではスタッフの活動をプチストーリー付きでわかりやすく紹介しています。



業務の内容を要点ごとにまとめ、採用までの流れを再現VTRで表現していたりと、学生スタッフの業務が丸わかりとなる動画に仕上がりました！



コラポの仕事では、普通のアルバイトだと経験できない貴重なスキルをいくつも身につけることができます。必ず自分の自信と技術向上につながりますので、動画内の登場人物のように成長することができますよ！

スタッフ紹介動画はこちらから視聴できます！



**施設について
もっと知りたい！**

という方はP.3へ！

コンテンツ

- 目次 01
- スタッフ作成動画紹介 02
- 施設紹介 03
- コラポの1年 05
- 新入生歓迎プロジェクト 07
- 大学祭 09
- 施設内イベント 11
- ハロウィン 12
- クリスマス 13
- 学生発案プロジェクト 15
- 北海道ピア・サポートコンソーシアム 17
- 広報活動・編集後記 18

スポンサー

- 札幌学院大学生生活協同組合 08
- 桑園自動車学校 10

設備紹介



SPACE2

誰でも簡単に予約・利用することができるプロジェクト学習の場です。普段は、講義やプロジェクト活動・部活動のミーティングのほか、インターンシップの説明会等に利用されています。

また、予約のない時間帯はテーブルが自由開放されているので、自習に取り組むことも可能です。

奥にある相談カウンターでは学生スタッフが常駐しており、学生目線からのピア・サポートのほか、パソコンやプリンタのトラブルの対応も行っています。

また、必要に応じて、のりやペンなどの文房具も貸し出しています。

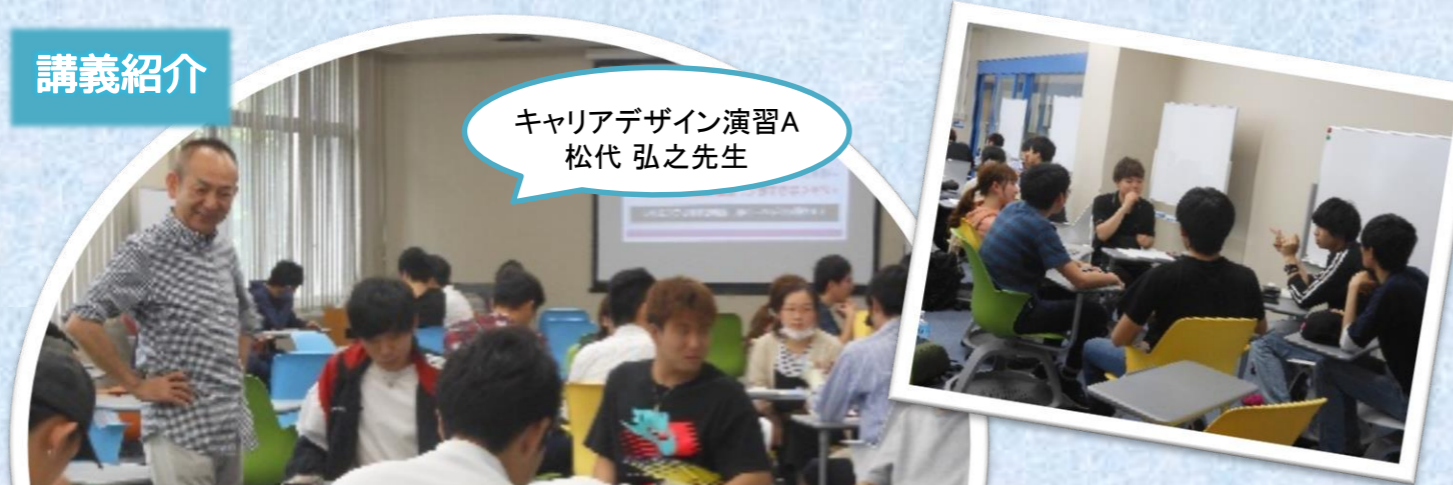
学生スタッフの業務



お困りの際は
ぜひ学生スタッフに
ご相談ください！

講義紹介

キャリアデザイン演習A
松代 弘之先生



SPACE3

電子黒板や書画カメラ等のマルチメディアを充実させたセミナールームで、アクティブラーニングにも適しています。

また、可動式の椅子・ホワイトボードも設置されているので、グループワークなど利用者が使用目的に合わせて室内のレイアウトを変更することもできます。

イスやホワイトボードは
自由に移動できるため
グループワークに最適！



Collaboration Center 施設紹介

SPACE1

iMacが15台設置されたPCルームです。おともに、学生が提出するレポートの作成や、授業の課題へ取り組む際に利用されています。

また、モノクロプリンターだけでなく、学生が学内で使える唯一のカラープリンターも設置されています。隣のSPACE2には、学生スタッフが勤務しており、PCトラブルの対応が可能です。



ENTRANCE

昼休みには、留学生も交えて英語でコミュニケーションをとる「English Lounge」や、教職員がトークイベントを行う「SGU Lunch Time Talk」等が開催されます。

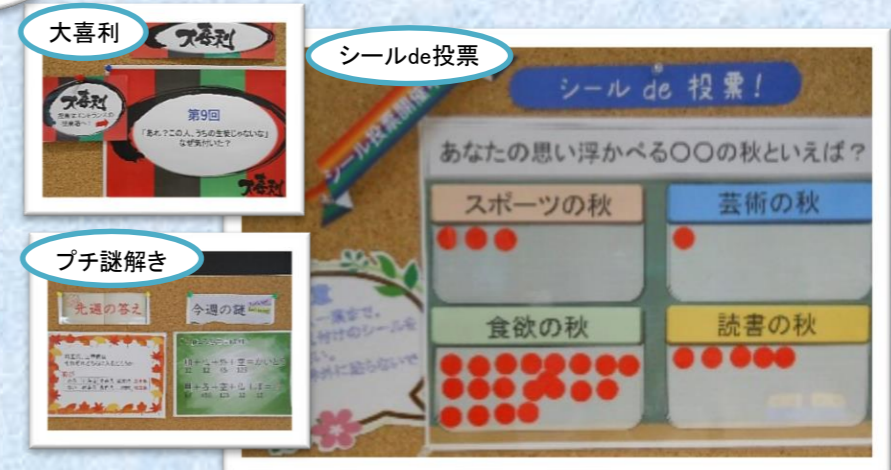
そのほかにも、教職員や学生たちが学部・学年を越えて交流したり、意見交換をしたりする学びの場として利用されており、コラボの中でも一段と活気の溢れる場所となっています。



コルクボード

エントランス横に設置されているコルクボードでは、イベントの広報や施設の紹介を行っています。

また、学生参加型の企画として「大喜利」「プチ謎解き」「シールde投票」を開催しており、好評をいただいています。



SPACE4

カフェをイメージして作られた空間となっており、落ち着いた雰囲気に好評をいただいています。多様なスタイルの椅子・テーブルを配置しており、個人学習やグループ学習など様々な用途に合わせて使用することができます。

また、お菓子やパンなどといった軽食・飲み物の自動販売機があるほか、雑誌・絵本、多数の電源プラグ等も完備されています。



2019年3月

● ひなまつり

詳しくは
7Pへ!

● 新入生歓迎イベント

4月

● スタッフ任命式

● 履修相談会

詳しくは
7Pへ!

5月

● 五月人形展示

● 学生発案プロジェクト
審査会

詳しくは
9,10Pへ!

6月

● 大学祭

7月

● アールブリュット展
セタ(七月八月)

詳しくは
12Pへ!

10月

● ハロウィン

詳しくは
17Pへ!

11月

● 北海道ピア・サポート
コンソーシアム

詳しくは
13,14Pへ!

12月

● 冬プロジェクト

2020年1月

● 学生発案プロジェクト
報告会

コラボの一年

コラボレーションセンターで行われたイベントを、季節ごとの写真で紹介します。

春

春はひなまつりとごどもの日に合わせて、D館一階の廊下にひな人形と五月人形を展示しました(①と②)。③は新入生歓迎イベントの写真です。謎解きイベントを当日、学生スタッフが参加者へヒントを与えています。
五月には学生発案プロジェクトの審査会が行われました(④)。今年度は三つのプロジェクトが採択されました。



秋

①と②はハロウィン時期に合わせて、十月中に施設内に施した装飾の写真です。③は十月に行われた任命式の写真です。任命式は四月と六月にも行われ、一年で三回スタッフ募集があります。
④は小樽商科大学にて行われた北海道ピア・サポートコンソーシアムのイベントの写真です。他大学の学生と交流しながら、ピアサポートについてより深く学ぶことができました。



夏

七夕の時期にはD館一階の廊下に笹を設置し、学生の皆さんに短冊を書いてもらいました(①)。施設内にはひまわりやアサガオなどを基調とした装飾を施しました(②)。また、エントランスにてアールブリュット展を開催しました(③と④)。学生が作成した個性豊かな作品が多く展示されました。



冬

①はクリスマスの装飾を施したエントランスの写真です。②の写真はクリスマスカフェの様子です。当日は写真のような屋台を設置し、コーヒーを販売しました。
③は本冊子の作成プロジェクトのミーティングの写真で、完成に向け最終調整を行っている様子です。④は学生発案プロジェクトの報告会の写真です。

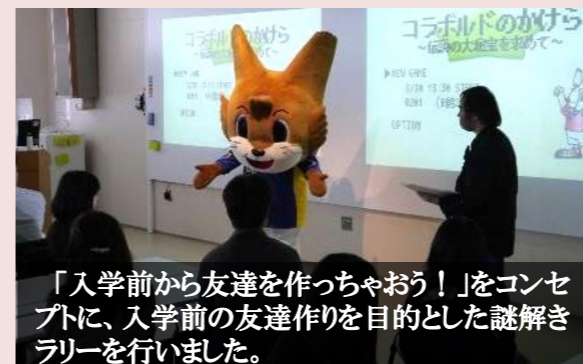




経営学部 新入生謎解き

4月2日（火）経営学部の新入生を対象に、謎解きゲーム「浦島太郎」を行いました。昔話に登場する浦島太郎に合わせて、学生スタッフが様々な謎を出題しました。
 今回の謎解きゲームでは「コミュニケーションをより多く生み出すことが出来る【お題・きっかけ】を作る」ことに重点を置いて展開を考えました。イベント序盤では、サイコロを使った自己紹介を取り入れることで新入生の交流を促し、学生スタッフも新入生同士が積極的に関わり合えるようサポートしました。イベント終盤では新入生同士での会話も弾み、和気あいあいとした様子がうかがえました。

謎解きゲーム コラボドのかげら ～伝説の大秘宝を求めて～



「入学前から友達を作っちゃおう！」をコンセプトに、入学前の友達作りを目的とした謎解きラリーを行いました。



3月30日（土）に、新入生歓迎企画第一弾として、大学全体を使った謎解きゲーム「コラボドのかげら～伝説の大秘宝を求めて～」を開催しました。



当日は50名以上の新入生が参加し、アンケートでは、回答者の9割以上から「難しいが満足できた」という評価をいただきました。



また、学内全体を使ったストーリーにしたことで、学内の施設について知る機会にもなりました。



この謎解きを通して、学部学科の垣根を超えた友達作りのきっかけをつくることができました。

新入生歓迎プロジェクト

4月4日（木）に新入生歓迎企画第二弾として、「履修相談会」を開催しました。約40名の新入生が全体説明会に参加し、各学部所属する学生スタッフから実際の時間割の作り方や、おすすめの講義などについて説明を受けました。初めての大学生活への不安ではなく、新しい生活への期待に満ちた雰囲気の中、真剣な眼差しで説明を聞く新入生の姿が印象的でした。また、履修登録に関すること以外にも、新生活に寄せる思いなどの相談があり、本企画に参加した新入生がコラボレーションセンターを利用するきっかけを作ることができました。



新入生歓迎＊履修相談会

店舗	F館1階		G館6階	G館7階	G館5階
	購買・書籍店	旅行・サービス店	カフェテリア ソレイユ	カフェテリア ファランステール	レストラン 文泉
営業時間	平日 8:30～18:15 土曜 10:30～13:30 定休	9:30～17:00 定休	10:30～15:00 11:00～13:30	11:00～13:30 定休	11:15～14:15 定休
主な扱い品目	パン・弁当・カップ麺 菓子、デザート、飲料 文房具、PC周辺機器 書籍、雑誌 大学オリジナルグッズ POSAカード、雑貨	旅行手配、留学相談 自動車学校、資格試験 出張手配、共済窓口 住居紹介、情報機器	麺類（そば、うどん、ラーメン）、小鉢、惣菜、サラダバー、季節フェア、飲料、デザート、など	各種丼、カレーライス、海鮮丼（毎週金曜）、など	セットメニュー、パスタ、コーヒー、など

※大学の夏休み、春休み、入学試験等で閉店する店舗もございます。詳しくはHPをご覧ください。
<https://www.hokkaido.seikyoin.ne.jp/sgu/bhours/> Tel 011-386-2971・6536・2956





Cofficeではカップ団子の販売を行いました。白玉のトッピングは自分で選ぶことができ、組み合わせも自由自在です！

さらに、「謎解きポイントラリー」での獲得ポイント数に応じ、白玉が割引となるサービスを用意しました。通常価格は100円なので、全問正解者はなんと白玉が無料になっちゃいます！

残念ながら全問正解者は出ませんでした。当日は多くのお客様で賑わい、想定より2時間以上も早く、用意したカップ白玉60杯全てを販売することができました。ご来場いただいた皆様、本当にありがとうございました。

一番人気は抹茶きな粉味で、購入された白玉全体の15%以上を占めました。次いで人気だったのが黒蜜きな粉味で、和風のシロップにきな粉を組み合わせるレシピが好評という印象でした。右の写真左部が抹茶きな粉味、右部が黒蜜きな粉味です。

抹茶シロップはほろ苦さが際立ち、その大人な味わいが高評価でした。黒蜜きな粉味は試作の段階からスタッフに大好評の味で、提供する味を決める際にも文句なしの採用となりました。



当日は白玉の生産が追いつかなくなるほどの大盛況でした。客層も幅広かったですが、とくにお子様連れのご家族が多い印象でした。購入した白玉をそのまま召し上がれるCofficeの雰囲気も好評となりました。

提供できる味に制限がかかったり、厨房担当のスタッフと連絡を取り合うのが大変だったりトラブルはありましたが、大きなミスもなく美味しい白玉を提供できました。

中には自腹で好みの味を購入するスタッフも。地域の方々にとっても、スタッフにとっても、初夏の楽しい思い出として充実した時間を過ごせたことかと思います。

コラボの祭

6月25日(土)に本学の大学祭「青嵐祭」が開催されました。コラボレーションセンターでは、学生スタッフが過去に作成した謎解きの問題に挑戦できる「謎解きポイントラリー」の開催および、屋台「こらぼや」でカップ団子の販売を行いました。



当日は、家族連れ・小中学生・ご年配の方・謎解き好きのソロプレイヤーなどなど、幅広い年代の方々にお越しいただきました。

今回用意した問題はすべて学生スタッフのお手製！頭を悩ませて作った力作ぞろいとなりました。中には、過去のイベントにおいて没となってしまった問題もありました。

一生懸命作っても報われないこともあり、スタッフはいつも必死に問題を作っています・・・！

ご協力いただいたアンケートでは、「すごく難しい問題から子供でも参加できる問題までレベルが幅広く楽しかったです。ぜひ来年も開催して欲しいです。」という感想もいただきました。

頭をフル回転させて謎解きを楽しんだ後は、ひんやりもちもちの白玉に舌鼓を打つ方が多く見られました。



普通免許

準中型免許

普通二種免許

企業安全運転講習

普通二輪免許

大型二輪免許

ペーパードライバー講習

高齢者講習



桑園自動車学校HP

北海道公安委員会指定・技能試験免除校

桑園自動車学校

札幌市中央区北8条西14丁目 (011)271-7511
(JR桑園駅前・イオン桑園店屋上)

無料送迎バス

市内7方面
毎日112便運行!



ハロウィンイベント

こらぼ まほうがっこう

10月5日(土)に、地域の小学生を対象とした体験学習型謎解きゲーム「こらぼまほうがっこう～先生からの最終課題～」を開催しました。
コラボレーションセンターを魔法学校に見立て、参加者の子どもたちに学校の卒業を目指してさまざまな試験を受けていただきました。



学生スタッフは担任の先生役を務めました。磁石を使ったりお絵描きをしたりと、楽しみながら謎に挑戦する子どもたちをサポートし、一人前の魔法使いへと導きました。
魔法学校の象徴であるハロウィンツリーがあるエントランスでは、隠された野菜を探して施設内を大搜索！ みんな元気いっぱい試験へ挑戦しました。



イベント終盤では、移動中に手を繋いできてくれるなど、子どもたちと打ち解けることもできました。

卒業式では、一緒に活動した担任の先生から名前入りの卒業証書とお菓子の入ったお楽しみバッグが贈られました。みんな、卒業おめでとう！



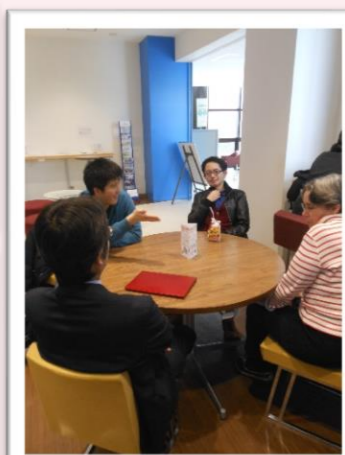
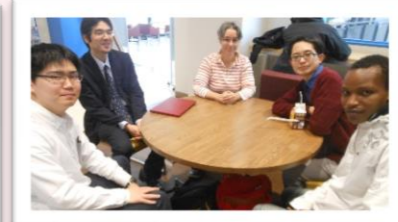
番外編 コラボの施設内イベント

手話サロン& 手話勉強会



手話サロンは、週に一度、昼休みにSPACE2で開催されており、講師の方と手話を通じて日常会話を学んでいく交流会です。手話勉強会では、講師の方をお招きして週に一度19:00～20:30までエントランスにて開催しています。
初心者でも安心して参加できる内容となっておりますので、手話サロン・勉強会にもぜひご参加ください。

English Lounge



English Lounge は平日の昼休みにエントランスにて開催されており、英語で話すことに興味のある学生や教職員が英語で交流を行う場となっております。普段の講義とは違い、リラックスできる雰囲気のため、気軽に参加することができますので、ぜひご参加ください。

SGU Lunch Time Talk

SGU Lunch Time Talkとは、学生や教職員が伝えたいことを自由に発信できる昼休みのイベントです。

「日ごろ研究しているテーマ」「関心を持って取り組んでいること」などを取り上げ、参加した学生や教職員はお昼ご飯を食べながら話を聴くことができます。このイベントでは、学生や教職員がお互いの知的好奇心を刺激し、施設のコンセプトである「イキイキの可視化」を体現しています。

イキイキがここからはじまる

今年度は、新しく着任した教員の方を講師としてお招きしました。その内容は本当にさまざまで、愛媛についてのお話があったり、けん玉と膝の関係を研究していたり、気になるトピックがたくさんあります！

SGU Lunch Time Talkは来年度も開催予定ですので、ぜひ気になるテーマをピックアップして参加してみてくださいね！



竖琴の音色だって聴けちゃいます！
たてごと

North Live Coffee

カフェで提供したコーヒー豆は江別市内に店舗を構える「ノースライブコーヒー」さんから購入。洞爺湖サミットでコーヒーを提供した実績を持つ。



十二月二十五日、ENTRANCEにて学生スタッフとインターンシップ生による一日限りの「クリスマスカフェ」がオープンした。コーヒーやココア、宇治抹茶ラテなどを販売し、合計100杯を越えるなど大盛況であった。大学内の学生や教職員をはじめ、地域の方々とも交流する貴重な機会となった。



Winter Project Christmas Cafe

カフェで実際に提供した「東ティモールコーヒー」は、香りが豊かで飲みやすく人気。

クリスマスカフェ

2019年度の季節行事「冬プロジェクト」は大きく分けて3つ。Collaboration Center施設内に冬を連想させる「装飾」を。2つ目は「カフェ」を企画。同時に、学内にある国際交流と共同で「フェアトレード」週間も行われた。3つ目は学生スタッフの「インターンシップ」を学内から募集した。今年度は江別市内の「ノースライブコーヒー」さんから購入したコーヒー豆をカフェ屋台で提供するなど、札幌学院大学がある江別市とつながりをもつ企画運営を行った。



冬プロジェクト



冬のCollaboration Centerはクリスマス一色。廊下には雪をイメージした装飾が、ENTRANCEには暖炉風の装飾をはじめ暖かく豪華なクリスマスの装飾が学生スタッフの手で行われた。12月25日のカフェ企画では、学生スタッフで作上げたオリジナルの屋台がENTRANCEに登場した。

2019年度に採択されたプロジェクト

沖縄を「戦争」と「基地問題」から考えるプロジェクト

「沖縄」をテーマにし、「戦争」と「基地問題」の観点から沖縄の現状や戦争による影響等を考えていく。そのために文献やインターネット等で調査し、沖縄の歴史的事象の理解・現状の把握を深めていく。本学の国内協定校である沖縄国際大学を訪問し、学生や教授との交流から現地の人々の意識や考え方に触れることを重点的に行う。



音声認識を利用した情報保障をより豊かにするプロジェクト

現在、学内において聴覚障がいを持つ学生に対して、ノートテイクとパソコンテイクによる情報保障を行っているが、テイクを行う支援学生のスキルも必要であり、支援学生の養成も課題となっている。本プロジェクトでは、パソコンやスマートフォンなどの音声認識機能による情報保障を学内で行えるよう設備と運用の確立を目指す。



携帯用アプリ開発プロジェクト

本学学生が必要とする情報（情報ポータル、Moodle、本学ホームページなど）を統合的に閲覧できる機能、携帯端末の位置情報を利用したキャンパスの案内機能、これらの機能がある携帯端末上で動作するアプリの開発を目指す。



プロジェクトリーダーに独占取材!!

学生発案を申請したきっかけはなんですか?
沖繩 学生発案プロジェクトで沖繩に行かないかと、人間科学科の山本先生からお誘いを受けたのが学生発案プロジェクトを申請したきっかけです。メンバーが全員、中・高校の社会科教員免許の取得を目指しているという点もあり、沖繩での基地問題と戦争について学ぶという話からこのプロジェクトが始まりました。

情報 より高水準の支援活動を求める必要性が高いと感じたのが主な理由です。そのため、パソコンテイクやノートテイク、通学介助といった学内支援を行っている学生たちとその利用学生をできる限り集めて、支援組織であるアセスンビリティ推進委員会と連携し、大規模なプロジェクトにして申請を行いました。

携帯 このアプリによって、大学の情報アクセスへ疑問を持つ学生がより利用者の生活をより良くすることを理想としてアプリ開発を行うとともにプロジェクトの継続を申請しました。

携帯 本プロジェクトでは技術的な要求が多く、実践的な開発を行うことができます。プログラミングスキルの向上や開発環境、データベース構築などの貴重な経験を得ることができそうです。

沖繩 現在は野幌高校と江別高校に訪問して、沖繩の基地問題と戦争についての授業をする予定です。生徒さん達に「本当の平和とは何だろうか?」ということを考えてもらい、沖繩で起きている現状を自分ごととして考えていただこうと思います。

情報 私たちは、3つの発展を目指しています。1つ目は、現場支援へのフィードバックを行い、支援の充実化を図るため、実際に学内で支援活動を行っている組織と連携しています。2つ目は、大学の支援組織だけではなく、大学を運営していくという大きな体制を作れるようになることです。最後に、学生の声が大きくなり、学生が主体となって大学を運営していくことを目指しています。

携帯 これからIT系の仕事に携わることになるので、本プロジェクトで得た知識とスキルを磨きつつ、実際の仕事で発揮していきたいと思っています。技術者を目標とする方、プログラミングに興味がある方は本プロジェクトへの参加をおすすめします。

学生発案プロジェクト募集!!

あなたの熱い想いを実現してみませんか?

※2020年度分募集の詳細は、4月以降のコラボレーションセンターが運用するSNS・学内掲示ポスターにてご連絡します。

学生発案プロジェクト



「学生発案プロジェクト」は、大学生生活でやってみたいこと・日頃から考えているアイデアや熱い想いに、最高50万円を支援する札幌学院大学のプロジェクト支援事業です。

今年度は、昨年度から継続採択となった「アプリ開発プロジェクト」・「情報保障プロジェクト」に加え、新たに「沖縄を『戦争』と『基地問題』から考えるプロジェクト」が採択され、計3つのプロジェクトが活動しました。各プロジェクトには、情報発信サイトを立ち上げて日々の活動状況を配信することが義務付けられています。

プロジェクト採択までの流れ

③ プロジェクト審査会に参加し、採択を目指そう

私たちのプロジェクトは、このように進んでいきます!

① 規則に従い、期間内に応募する準備をしよう

こんな活動ができればいいなあ

スケジュールはどうしようかな...

④ 採択されました。最大50万円の支援を受けて活動できます。

これから頑張るぞ!!

ヤッター!!

② プロジェクト計画を綿密に練り、計画書を作成・提出しよう

よろしくお祈りします!!

確かに受け取りました!

プロジェクト採択後は??

学生が発案したプロジェクトが審査会を経て正式に採択されたあとは、実際に活動を始めていきます。プロジェクト活動をしていく中で、進行状況の報告を随時行うプロジェクトもあります。全てのプロジェクトが参加する最終報告会では、1年間の活動成果報告を行います。

最終報告会は、1年間の活動をまとめ、成果を報告する場所です。次年度への準備・計画を進めていきます。



 **Twitter**



札幌学院大学コラボレーションセンター
@SGU_Collabo
フォローしているあいさん、優斗さん、札幌学院大学 新入生歓迎会さん、他21人にフォローされています

札幌学院大学コラボレーションセンターの公式アカウントです。キャンパスの中心に誕生した「協働」(コラボレーション)をコンセプトとする学びの創造空間「Collaboration Center」の関連情報をツイートしていきます！#SGUコラボ

北海道 江別市 | sgu.ac.jp/cc/
2015年11月からTwitterを利用しています
9 フォロワー 184 フォロワー

ツイート ツイートと返信 メディア いいね

札幌学院大学コラボレーション... 2020年10月27日
【謎解き】先週の謎は50音表を思い浮かべられる

謎解き、大喜利のお題・回答を投稿したり、イベントの予告や試験期間中の呼びかけをしています。

広報活動

 **Instagram**



札幌学院大学コラボレーションセンター
twitter.com/SGU_Collabo

ストーリーズハイライト

主にコラボレーションセンターが行っているイベントの告知や報告、日常の風景を投稿しています。

2020年秋職活動

2017 2018

コラボレーションセンターにて行われる様々なイベントの予告や開催報告などに関する情報は、SNSを用いて皆さんにお届けしています。各種SNSのアカウントにつきましては、裏表紙にQRコードとURLがありますので、アクセスとフォローをよろしくお願いいたします！

 **Facebook**



札幌学院大学 Collaboration Center
尾崎 貴司さんの投稿
11月1日 · 公開

10月31日(月)ハロウィン当日はエントランスで仮装してくれた方にお菓子を配りました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました！

Twitterだけでは盛り込めない内容や、施設内の機器使用方法を動画で分かりやすく伝えています。

広報コラボ & 年報

学内向けの広報として、イベントの報告等をまとめた「広報コラボ(月刊)」や、施設の活動をまとめた「年報(年刊)」を学生スタッフが作成していますので、ぜひご覧ください。

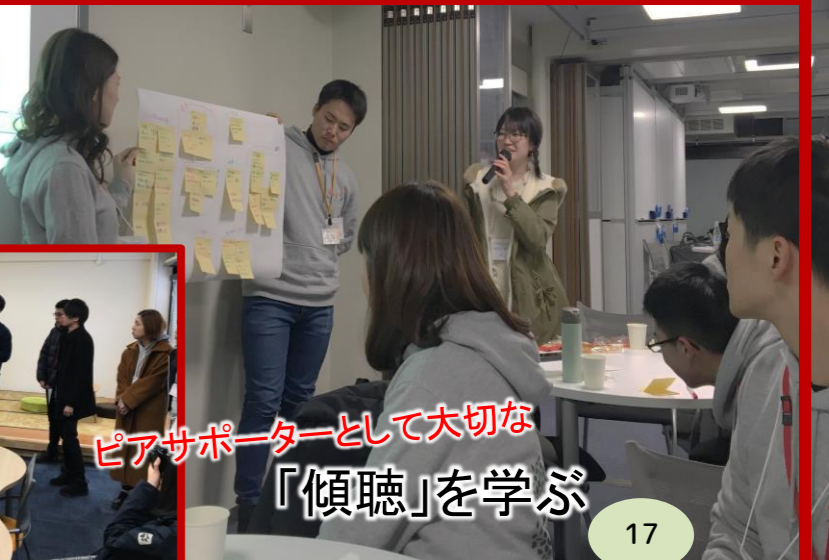


編集後記

コラボレーションセンターは今年で開設5年目を迎えました。今年度は北星学園大学・小樽商科大学のピアサポーターとの交流を通じて、今までよりもピアサポート活動に注力することができました。また、今回の年報では、コラボのコンセプトである「イキイキの可視化」を目標とし、大学祭・クリスマスカフェなどの季節行事プロジェクトに焦点を当てて作成しました。この年報を通して、コラボの様々な活動を楽しんでいただければと思います。最後に、今年度の年報作成にあたりご協力いただきました企業・団体、教職員・学生の皆様に心から感謝申し上げます。来年度もコラボレーションセンターをどうぞよろしくお願いいたします。

2018年にキックオフ！ 北海道ピア・サポート コンソーシアム

北海道ピア・サポートコンソーシアムとは、北海道内の各大学においてピアサポート活動の充実を図ること。また、ピアサポートをしている学生同士による交流を通して活動の発展を目指すことを目的とした組織です。今年度は各大学に赴き、ピアサポートを行う学生と交流を行いました。札幌学院大学は**謎解きゲーム**を主催しました。





Collaboration Center

Sapporo Gakuin University



<https://www.facebook.com/SGUCollaborationCenter/>



https://twitter.com/SGU_Collabo



https://www.instagram.com/sgu_collaborationcenter/